



# 口加だより

## 8月号

発行元: 〒859-2502  
長崎県南島原市口之津町甲3272番地  
長崎県立口加高等学校広報研修部



口加高校HP

令和2年度口加高校キャッチフレーズ

### 輝こうか! 君も口加で Realize Your Dream!

第26代  
竹嶋潤一 校長

#### 「自業自得?」

毎年8月になると、平和に暮らせていることに感謝しています。6日、9日、15日、それぞれの日が近づくと、マスク等にも取りあげられるので、自然と平和について考えます。学校でも8月9日は平和学習を実施してきました。それでも、一頃前と比べるとテレビの特番などは毎年減ってきているようにも思えます。戦後75年ともなれば仕方ないことなのかもしれません。しかし、私のように戦争を経験していない者にとっては、間接的にはあっても、戦争がどれだけ惨たらしいものなのか、戦時中どれだけ筆舌に尽くしがたい苦しみを人々が経験したのかを見聞きすることで、二度と戦争をしてはいけないと理解させられるのだと思います。

ところで、今は、社会はコロナ禍にあります。皆、先の見通しが立たず、自分も感染するのではないか、生活が破綻するのではないか、という恐怖や不安を抱えて暮らしています。「コロナとの戦」という言葉もよく耳にします。戦争に例えるべきでも、また戦争と比べられるはずありませんが、コロナが敵の戦争状態なのかもしれません。

そんな中、少数だとは思いますが、感染した方に対してバッシング、吊し上げ、誹謗中傷を行ったり、医療に従事する方に対して偏見を持ったりしている人がいます。「感染したのは自業自得」「コロナをまき散らすな」などの言葉を感染した方へ浴びせたり、僅かな情報を手掛かりに感染した方を特定しSNSにあげるなど、まるで犯人捜しのようなことをしたりしている人がいます。もちろん許されることではありません。しかし、ひょっとしたら、感染する恐怖感や将来どうなるのかわからない不安感がそうさせているのかもしれません。当然のことながら、感染した方も、感染したくて感染したわけではありません。どんなに感染防止対策をしていても、感染する可能性をゼロにすることはできません。三密と言われる場所に行かなくても感染することはあるでしょう。マスク着用、手洗い、換気をしていても、常時その状態を継続することはできません。私たちにできることは、感染する可能性を少しでも減らす努力をすることだけです。

宿泊客が新型コロナウイルスの感染者となったホテルを経営する船橋社長は、「メディアを使って正確な情報を速やかに伝え風評被害やデマの拡散を防ぐことができたが、感染されたお客様も被害者。誹謗中傷や過剰な詮索をされないよう望みます。」と発言されています。また、長崎港に停泊中に集団感染が判明したクルーズ船に関する新聞記事によると、受け入れた県や三菱重工の責任を問う電話やメールが新聞社に相次ぐ一方で、乗組員を気遣い、励ます内容の手紙が届き、紹介すると市民の共感が広がり、見舞いの贈り物をクルーズ船に届ける動きにつながったそうです。記者は「人は困難なときにこそ助けが必要だろう。そんなときにこそ、相手を思いやる冷静さと優しさを持ちたい。」と思いを述べています。

長崎新聞に73年前に佐世保市の浦頭港へ引き揚げた木本和義さん(85歳)の言葉が紹介されていました。「国と国との争いは、人が人をいじめることから始まる。戦争は身近にある。」コロナ禍であるからこそ、感染者や医療従事者へは、差別ではなく思いやりや優しさを示し、我々とともに正しい情報に基づいて協力しあうことが求められているのではないのでしょうか。それが、平和を継続させる方法の一つだと思います。

#### 9・10月の主な行事予定

- 9/1(火) 始業式
- 9/2(水) 体育祭予行
- 9/4(金) 代休日(9/5)
- 9/5(土) 体育祭会場設営
- 9/6(日) 体育祭
- 9/7(月) 代休日(9/6)

- 9/10(木) 生徒会各種委員任命式
- 9/16(水) 45分日課①~⑥
- 9/18(金) 中間考査時間割発表  
陸上県新人(~20)
- 9/19(土) バスケ中地区リーグ  
ソフトボール県新人  
ソフトテニス地区新人  
野球九州予選(~20)
- 9/20(日) 中地区卓球研修会
- 9/21(月) 敬老の日

- 9/22(火) 秋分の日・部活休止
- 9/24(木) クラス弁論大会
- 9/29(火) 中間考査(~10/2)
- 10/3(土) 全学年補習・GTEC③年
- 10/8(木) 共通試験100日前集会
- 10/10(土) 3年対外模試(~11)
- 10/31(土) 菖蒲祭

## 体育祭9/6(日)開催!

## 体育祭への各班長の意気込み



今回、新型コロナウイルスの関係でソーシャルディスタンスをとり、無観客の形で体育祭をすることになりました。多々不安はありますが、本番までやってきた練習の成果を十分に発揮し、赤団全員一致団結して、行進の部、競技の部、応援の部全て勝ち、総合優勝を勝ち取りたいと思います。例年に比べ、少し寂しい気持ちはありますが、まず、赤団が、青団、黄団に負けないくらいに声を出して場の雰囲気盛り上げていきたいと思っています。また、コロナをぶっとばすくらいの勢いで楽しみ、思い出の新たな1ページにできるよう一致団結して頑張りたいと思います。そして、体育祭ができる喜びを噛みしめ、感謝の気持ちを持って本番に臨みます。



「赤団」班長 菅 紘生



さて、世間では新型コロナウイルスの暗いニュースで溢れているが、口加高校は違う。9月6日の体育祭に向けて青、赤、黄の3団が優勝を目指して活気に溢れている。

私たち青団は「逆境より栄光へ、いざ行かん」のテーマのもと全ての賞を取る。青団の団員は、仲間思いで、協調性があり、とてもいい顔をしていて、優勝間違いなし! また、ダンスで使用する衣装は、3年生がひとつひとつ丁寧に作成した。衣装作成は「大丈夫か」と思うことが多くあったが、困った時にはお互いに助け合い、いいものが出来た。また、キレッキレのダンスと歌詞に注目していただきたい。無観客の寂しいギャラリーではあるが、ご心配なく、青団及び赤団、黄団がしっかり盛り上がります。体育祭が終わるまで、班長として優勝まで引っ張ります。



「青団」班長 大嶋健心



黄団の平石です。今年の体育祭は新型コロナウイルスの影響で例年どおりとはいかず残念な部分がありますが、体育祭ができることはとても嬉しいです。私は人前で何かをするというのが苦手で、そんな自分を変えるために班長になりました。私は体育祭が終わったあとに、黄組楽しかったと思ってもらえるような団にしたいと思っています。そのためにも誰よりも声を出してまとめていきます。目標は競技・応援・行進で三冠を取ることです。黄組の合言葉の「キューですっ!」の元、団全員が一致団結して最高の演技を見せられたらと思います。応援のテーマは「嵐を呼ぶギャップ萌え大作戦」です。そのギャップにご注目! 3年生として班長として最高の体育祭にしてみせます。目指すは三冠。勝つのは黄色!



「黄団」班長 平石俊嗣

### 「長崎県陸上選手権大会 兼 国体予選」(7月)&「第1回県記録会」(8月)の結果

私たち陸上部は、7月17日から19日の3日間、諫早市のトランスコスモスタジアムで開催された陸上競技選手権大会に出場してきました。結果は、延べ22名が入賞を果たすことができ、その他も自己の記録を更新するなどしてまずまずの結果となりました。新チームになってから戸惑うことも多くありましたが、大会に向け一人一人がしっかりと練習を積むことができました。

また、8月22・23日に開催された第1回県記録会にも出場してきました。お盆明け直ぐの大会でしっかりと練習の成果を出せた人もいましたが、練習量が足りず自分のベストを越えることができなかった人もいました。この大会では、多くの課題が残りました。

次は、9月18日から20日に開催される新人戦に向け一人一人が高い目標を持ち多数の上位入賞者を目指し頑張っていきます。

#### 県選手権の結果

- 【男子種目】
- 100m 2位 深山創希(1年)
- 5000m競歩 5位 尾崎淳平(1年)
- 4×100m 2位 口加  
(尾崎・本村・今村・深山)
- ハマ投げ Jr 3位 門畑知樹(2年)
- 7位 長岡薫(1年)



陸上競技部  
大健闘!

- 【女子種目】
- 800m 5位 北村優衣(1年)
- 三段跳び 5位 松藤ゆずき(1年)
- 砲丸投げ 3位 井上奈々(1年)
- 円盤投げ 8位 本多莉奈(2年)
- やり投げ 5位 山崎絢音(1年)
- 7位 杉本のか(2年)
- ハマ投げ 8位 本多莉奈(2年)
- 7種目競技 7位 金子真夕(1年)
- 8位 石橋永遠(2年)
- 4×100m 4位 口加  
(本多・北村・渡部・松永)

#### 第1回県記録会

- 【男子種目】
- 100m 2位 深山創希(1年)
- 5000m競歩 2位 尾崎淳平(1年)
- 4×100m 2位 口加  
(尾崎・本村・今村・深山)
- ハマ投げ 2位 門畑知樹(2年)
- やり投げ 3位 竹下斗真(1年)

- 【女子種目】
- 400m 3位 本多 奏(1年)
- 800m 1位 原あかり(3年)
- 2位 北村優衣(1年)
- 3位 瀬川 葵(2年)
- 砲丸投げ 3位 井上奈々(1年)
- やり投げ 2位 山崎絢音(1年)
- ハマ投げ 8位 井口知香(1年)
- 7種目競技 3位 金子真夕(1年)



## 福祉科「介護実習」実施 ②年7/27~30、8/3~7 ①年8/3~6

福祉科では、本来、校外の施設等で行う実習が、新型コロナ禍のため校内実習に変更されました。2年生は、7/27(月)から10日間、1年生は、8/3(月)から4日間の介護実習を実施しました。実習は、ベッドメイキング、体位変換、入浴介護等を行い、講話では、障害者施設、高齢者施設、介護職の方々にご来校していただき、福祉関係の現状について話をしてもらいました。

私は今回の校内実習を通して、自分の実技の力や知識を増やすことができました。ベッドメイキングやポータブルトイレの支援の実技も、2年生の先輩方とペアになり実技を行うことで、分からないところを何回も質問することができましたし、繰り返し聞くことでしっかり理解できました。また、1週間2年生の先輩方と校内実習で過ごし、話したことがない先輩と話すごうきだったので、先輩方との距離も一層縮まったと思います。とても充実した五日間でした。ここで終わりだと思わず、これからの授業にもつなげていきたいと思ひます。 生徒感想抜粋(1年4組中村さん)



## 「平和学習会」実施 8/9(日)

8月9日(日)、「平和学習会」を実施しました。今年は、コロナ禍のため3密回避と熱中症対策のため体育館での実施をやめ、各教室に分かれてビデオ「長崎の記憶」を上映し、被爆75年の節目に改めて戦争の悲惨さを学びました。また、11時2分には各教室で黙禱を行い、原子爆弾でなくなられた方々のご冥福をお祈りしました。

戦争を直接体験していない私たちは当時の様子やそのときの被爆者の感情を味わうことはできませんが、今回の平和学習を通して今の世の中がどれだけ幸せで豊かなのか改めて実感することができました。戦争が行われることによって多くの人の夢や希望を失うため、決してあってはいけない事だと思う。戦争のない世の中にするには私たち若者が戦争についてしっかり学び周りに広めていくべきである。今幸せに生活できていることに感謝したい。 生徒感想抜粋(3年竹村さん)



ビデオ視聴



感想記入



黙禱

## 第1・2学年 出張講座 8/21(金)

8月21日(金)、1・2年生対象に「出張講座」を開催しました。講座は、大学5講座(薬学・教育・看護・経済・情報工学)、専門学校8講座(看護・リハビリ・医療事務・IT情報処理・幼児教育・公務員・美容・デザイン)が開講され、生徒は、自分の進路に関係のある大学、専門学校を熱心に受講していました。

九産大情報工学(オンライン)

活水女子大看護



## 8月「夏季校内学習会」 ③年8/2~6、①②年8/5~7

全学年、例年夏休みに実施していた学習合宿が、新型コロナ感染拡大のため宿泊を伴う形式での実施ができず、通学での「校内学習会」を実施することになりました。暑い中での学習会でしたが、日頃体験できない学習時間を体験し、今後の家庭学習時間アップにつながる有意義な時間となりました。

### 3学年

下記は、生徒の感想抜粋です。

- 今回の学習会では、積極的に質問に行くようにしてみました。思ったよりも、簡単に解ける問題や自分がずっと間違っていた考え方をしてきたことなど様々なことに気づきました。
- 長い時間集中力を持って勉強しようと思えばできる、ただ自分がやろうとしていなかっただけなのだと思います。
- 仲間の存在が励みになりました。苦しいときに隣で頑張っている仲間がいることは大きな支えにもなりました。
- 学校の先生方や、保護者のお陰で参加することができました。決して当たり前ではない学習会に参加できたことに感謝しなければならぬと感じました。



### 2学年

- 学習会の途中で集中力が続かなかったときに、周りを見るとみんなたくさん書き込んでいたり、考えていたりして「こんなじゃダメだな」と思った。また、自分が今までやってきたやり方と友達がやっているのが違って、そっちでやってみようという発見があった。周りから刺激や新しい発見をもらうことが出来て良かった。
- いつものクラスではなく、他クラスの人と他の教室で勉強するというのが新鮮でした。学習会が終わったときには、3日間があっという間に過ぎ、正直、まだ続けて欲しいと思った。今回の学習会での集中力や学習態度を家庭でも実践し続けていきたい。また、普段の学校生活でも分からない所はすぐに質問するのが大切だと強く感じた。数学の分からない所ができるようになったのが嬉しかったです。



### 1学年

- 3日間の学習会を振り返るとあっという間だったなあという気もします。初日は「7時間40分って長すぎ〜」という思いが強かったのですが、2日目、3日目とやっていくうちに、「もうちょっとやろう」とか「楽しい」といったプラスな思いも出てきました。7時間以上勉強したことは、今まで無かったし、家で勉強していても音楽を聴いたりスマホを気にしたりして、なかなか集中してやるということがあまりできませんでした。でも、この3日間で少しは自分の中での集中力が上がったのではないかと思います。
- 数学や国語、英語のわからないところを質問できたり、数学の大苦手であった2次関数の最小値・最大値を全問答えることができて、わからなかったところを解けるうれしさを感じることができました。積極的に質問をしに行ってきた。また、3日間で初日にはなかった集中力も生まれました。このコマの時間内に何をすればいいか、など自分で考える力が身につく、この3日間で少しですが成長できたのかなと思います。

